

芽高新聞

再刊309号
北海道芽室高等学校
新聞局
河西郡芽室町東めむろ
1条北1丁目6
発行責任者
鈴木 菜々美

ボランティア部

子育て応援団体賞受賞

「活動を知ってもらいたい機会に」



園の子めめら主催の子ども食堂に参加したボランティア部は今回芽室町の「子育て応援団体賞」を受賞した。受賞の経緯や感想、今後について聞いた。

今回、芽室町から子育て応援団体賞を表彰されたボランティア部の部長、植山若奈さん（2B）に話を聞いた。

子育て応援団体賞とは子育てしやすい環境作りに功績のあった個人、団体、企業を応援する賞。ボランティア部は、芽室町中央公民館で毎週火曜日に開催されている子ども食堂に毎回参加している点が評価された。

植山さんは「子ども食堂では子ども達と遊び、勉強などを一緒に行う。触れ合う際には目線を合わせることに気をつけている」とそうだ。

子育て応援団体賞とは子育てしやすい環境作りに功績のあった個人、団体、企業を応援する賞。ボランティア部は、芽室町中央公民館で毎週火曜日に開催されている子ども食堂に毎回参加している点が評価された。

植山さんは「子ども食堂では子ども達と遊び、勉強などを一緒に行う。触れ合う際には目線を合わせることに気をつけている」とそうだ。



ボランティア部長の植山若奈さん（2B）と部員たち



今回の賞に關して、ボランティア部顧問の佐藤光弘先生は「部長のおかげで賞を取れたと思う。地域貢献ができて嬉しい」と語ってくれた。

部員数が多いボランティア部。その理由を佐藤先生は「週一回による手軽さや、ホームページを閲覧して興味を持った人が多かったからでは」と分析。そのため、「今年度は人数制限をする予定」と語る。そして、「最初は部員が少なかったが、今では活動が広がり、できることが多くなった」と部の充実ぶりを実感している。

「この部活は幅広い年齢層と交流することとコミュニケーション能力も上がり、色々な体験ができ、将来にも役立つ」とPRをしてくれた。

最後に「今後は生徒達自ら計画を立て、導う形で子ども達と関わってほしい」と語った。（五十嵐）

「地域貢献ができて嬉しい」

芽室高校第68回卒業式終了

「何気ない日々と親を大切に」

3月1日、芽室高等学校第68回卒業証書授与式が行われ、3年生159名が無事卒業した。

今年度は昨年度とは異なり、3年生全員が卒業証書を自分の手で受け取る形となった。今年の皆勤賞受賞者はと在校生へ向けて答辞が読まれた。

最後に全校生徒で「旅立ちの日に」を合唱し、卒業式は終了した。（高砂）



卒業証書を受け取る生徒たち

編集後記

3年生が卒業し、2年生でいられるのも残りわずかとなった今日この頃。物の見方や価値観が変わっても、芽高新聞は変わらず発行しますよ。（森）

私が新聞局に入局した時から局室には二本のりんごジュースがあった。それは私達の代から三代前の先輩方が、転校してしまいう局員に渡すために購入した。しかし当の局員には渡しそびれ、そのまま3年の月日が経った。この話を聞いた私はそのジュースを片手に思った。「いや、捨てるよお！」と。結局、3月1日、晴れてジュースを処分することになった。しかし誰も飲まないで捨てたものだろうかと思つた私は記念に一口。驚くことに美味しかった。逆にさっぱりしてこれはいいのではと思つた瞬間、腹部に衝撃が。この時思つた。やはり3年経った飲み物は駄目だということ。（鈴木菜）



1C阿部さんミュージカル出演

2月16日、17日に阿部玲菜さん（1C）が所属する劇団バズルの第16回公演「OZ」が、帯広市民文化ホールで行われた。オズの魔法使いがテーマのこの演劇、阿部さんはブリキの役を演じた。「男役だったので周りの男性の歩と意気込んだ。（小川）

阿部玲菜さん（1C）が所属する劇団バズルの第16回公演「OZ」が、帯広市民文化ホールで行われた。オズの魔法使いがテーマのこの演劇、阿部さんはブリキの役を演じた。「男役だったので周りの男性の歩と意気込んだ。（小川）

- 局長 鈴木菜々美（2D）
副局長 森 仁美（2A）
編集長 相川 愛実（2B）
根元 七穂（2A）
高砂 萌衣（2B）
鈴木 麻央（2C）
五十嵐千歳（1C）
小川 結衣（1C）
顧問 石森由香利（1C）
鶴身 幸一